



よしだつうしん

吉田通信

第116号
【2024年5月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆13年前の名刺を大事に◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第116号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

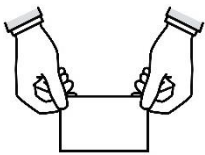
さて、先日、現場のスタッフからの報告を聞いて、本当に有り難いことだとつくづく思いました。

13年くらい前に弊社からお庭の灯笼をご購入いただいたお客様が、先日、「お墓の購入のときは吉運堂でと思っていたので、名刺を大事に保管していました」と、ご相談に来てくださったようです。そのお客様はまだまだお元気ですが、「そろそろ準備をしておこうと思って」と、ご来店してくださったようで、私はその報告を聞いて、本当に有り難いことだと思いました。

まず、そのお客様に対してです。弊社スタッフの名刺を13年もずっと大事に保管しておいてくださり、そして、改めて弊社を頼って来てくださったことは、本当に有り難いことだと思いました。

そして、13年前に対応してくれたスタッフに対しても同様です。13年前となると、2011年あたりでしょうか。そのとき対応したスタッフは今も現役でお客様対応をおこなっていただいているのですが、その灯笼をご購入いただいたときに、しっかりと対応してくれたおかげで、13年後の吉運堂へとまたお客様が来てくださったのです。

私たちが取扱っている商品は、例えば、お庭の灯笼しかり、お仏壇しかり、お墓しかり、リピート購入するものではありません。また、そう簡単に壊れるものでもなく、買い替えることも基本的にはありません。それでも、目の前のお客様に対して、しっかりと対応をすることで、遠い将来かもしれません、またお客様になってくださり、なってくださらなくても、良いクチコミが広がるなりして、将来の吉運堂を助けることに繋がる。



吉運堂は今年で創業100周年ですが、ここまで長く続いているのは、その時その時の一人ひとりのスタッフが、目の前のお客様に対してしっかりと対応してきたおかげで、その積み重ねがあつてのことだと思えます。報告を聞いて、歴代のスタッフへの感謝も忘れてはいけなと、改めてそう思いました。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、毎年5月5日の端午の節句に長岡で御釈迦様の誕生日をお祝いする「花まつり」が執り行われます。今年も吉運堂としてお手伝いに行つて参りました。今年例年より気温がだいぶ高く、着飾つて歩く稚児行列のその子どもたちが熱中症にならないように気を遣いました。この「花まつり」は今年で98回目の開催ということで、再来年には100回目を迎えます。とても歴史ある行事です。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史